

附属生命医学研究所



共焦点レーザー走査型顕微鏡 FV3000

総合研究施設

総合研究施設は、附属生命医学研究所の共同利用研究部門として所属講座にかかわらず研究者が広く利用できる施設です。

セルソーター、質量分析器、電子顕微鏡、DNAシーケンサー、次世代シーケンサー、3Dプリンター、各種の蛍光顕微鏡など、最新の機器が揃っており、オープンラボ形式の臨床系総合研究施設も設置し、本学の研究活動を支える中心施設となっています。



SPECT / CT

アイントープ実験施設

アイントープ実験施設は、放射性同位元素を用いて研究するための共同実験施設です。

施設内には、液体シンチレーションカウンターやガンマカウンターなどの放射線測定器をはじめ、細胞や小動物に放射線照射をするためのガンマ線照射装置、最新のイメージング危機であるSPECT/CTやX線透視装置などが揃っており、基礎的な実験から小動物のイメージングまで幅広い実験が可能です。



個別換気式ゲージによるマウス飼育管理

実験動物飼育共同施設

実験動物飼育共同施設は、社会的・科学的に適正な動物実験を保障するための環境を整備し、実験動物を飼育しています。

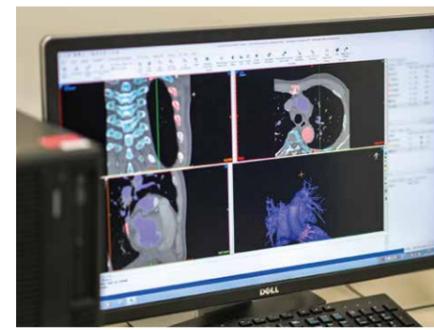
施設には、SPFおよびコンベンショナルな環境での各種動物の飼育室の他に、実験室、胚操作室、検疫室などを備え、本学でも動物実験によって、再生医学・免疫学・神経科学・幹細胞生物学等の分野で数多くの画期的な成果が得られています。

関西医科大学 大学院医学研究科 博士課程

入学相談 随時受付

メールや電話でも
気軽にお問合せください

学位取得に向け多様なサポートを行っています。
自身の研究を深めて医療人としての
キャリアアップを図りませんか。



令和7年度
博士課程
募集

一般入試 通常4年コース

社会人入試 通常4年コース・長期履修5年コース

外国人入試 通常4年コース〈第一次募集のみ〉

	第一次募集	追加募集※
定員	50名	
出願資格審査書類 受付期間 <small>※出願に際し資格審査が必要な場合があります。</small>	令和6年10月15日(火)～ 令和6年10月25日(金)	令和6年12月16日(月)～ 令和6年12月27日(金)
願書受付期間	令和6年10月15日(火)～ 令和6年11月22日(金)	令和6年12月16日(月)～ 令和7年1月22日(水)
入学試験期日	令和6年12月7日(土)	令和7年2月1日(土)

※第一次募集で定員に達した場合は追加募集を実施しません。

募集要項はホームページに掲載していますので、ご参照ください。 <https://www.kmu.ac.jp/juk/>



関西医科大学 医学部事務部 大学院課
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
TEL 072-804-2305 (内線 2225)
E-mail gradumed@hirakata.kmu.ac.jp

《大学院課受付時間》 平日 午前9時～午後5時10分 / 第1・3・5土曜日 午前9時～午後1時

医学研究の分野で 社会に貢献！ 医療人としての キャリアアップ！ 研究者として 世界に羽ばたく！

多様なバックグラウンドを持つ学生をサポートする体制が整っています。

授業料免除制度

基礎社会系・教養系研究分野の学生、社会人学生(医師、歯科医師免許保有者を除く、ただし研修医は含む)は授業料が免除されます(収入の審査があります)。

社会人コース

各種医療機関、官公署・民間会社等に在職しながら学ぶことができます。関西医科大学系列病院に勤務されている助教等の方も、社会人コースの対象となります。

長期履修制度

標準修業年限は4年ですが、社会人等、研究時間に制限のある方は5年間で学位を取得することができます。授業料の合計は通常4年間のコースと同額です。

本学では、幅広い分野の最先端機器を揃えた総合研究施設と最新鋭の実験動物飼育共同施設を備えているほか、臨床研究支援センターも設置しています。医学部棟と附属病院が隣接しており、基礎研究、臨床研究ともに進めやすい環境が整っています。

ハード面、ソフト面双方を充実させた大学院は、高度な専門知識と研究能力を有した指導的立場に立つ医師・研究者を育成していきます。

CAREER PASS キャリアパス



学生納付金

- 入学金 200,000円
- 授業料(実習費込) 500,000円(年額) ※長期履修制度の場合は 400,000円(年額)
- 学生教育研究災害傷害保険加入料(4年間) 3,300円 (5年間長期履修) 4,050円



INTERVIEW

新入生インタビュー

皮膚科学
(令和6年度 入学)
第1学年 伊藤 真未

日々の診療では皮疹が呈する多彩な症状を、肉眼で評価し、さらに病理検査を行うことで病態を考察しています。その中で生じる疑問点について研究を通して知ることができたら、という思いが徐々に大きくなったタイミングで迷うことなく大学院への進学を決めました。私は皮膚科医7年目の年に入学しましたが、研究室には様々なバックグラウンドの大学院生が在籍しています。研究室で指導をいただける環境や、充実した設備やプログラムなど、社会人を経て改めてこのように関心のあることについて学ぶことのできる環境に感謝しています。まだまだ駆け出しの身ではございますが、将来的に臨床の場においても貢献できるよう、精一杯取り組みたいと思っています。

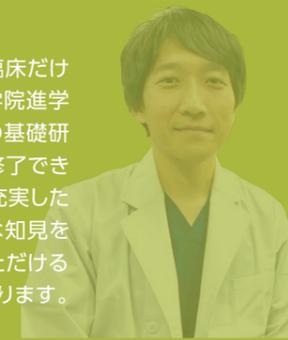


INTERVIEW

修士生インタビュー

発達小児科学
(令和5年度 修了/KMU博士研究員(iPS・幹細胞再生医学))
保田 真宏

私は約10年間、小児科医として臨床に従事してきました。卒後5年目に臨床だけではなく、研究にも興味を持ち社会人コースで大学院に入学しました。大学院進学後はiPS・幹細胞再生医学講座で小児科疾患の研究を行いました。初めての基礎研究で、指導医の先生をはじめたくさんの方にご指導いただき、博士課程を修了できました。結果が出ない時期もありましたが、相談しやすい研究環境もあり、充実した研究生活を送れました。基礎研究は失敗を考察して、成功へつなげ、新たな知見を得ることに魅力を感じました。現在は、卒業後も研究活動をサポートしていただける制度である、「KMU博士研究員」としてiPS細胞を用いた研究を継続しております。今後も、基礎研究と臨床の懸け橋となれるよう研究に励みたいと思います。



CURRICULUM PICK UP

カリキュラム

選択必修コース

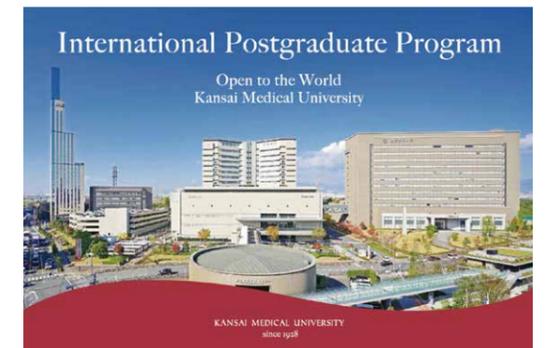
3つのコースに分かれ、定期的なコースミーティングや年に1度のリトリート(合宿)を行います。自身の研究について、様々な教員から研究分野の垣根を越えてアドバイスを受けることができます。

- がん研究コース
- 人体の構成と疾患研究コース
- 臨床・疫学研究コース



国際大学院 (International Postgraduate Program)

令和4年度に本学協定校等の外国人留学生を積極的に受け入れる国際大学院を開設しました。今後、より一層グローバルな大学院に進化します。



がんプロフェッショナル養成プラン(がんプロ)

本学は「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」に参加し、関西圏の複数の大学と連携しながらがんプロ事業を展開しています。大学院ではがん専門医療人材を養成するための4つのコースを設けており、がんにて化した専門知識を習得し、自身の研究を深めることができます。

- 地域がん医療課題克服型腫瘍学コース
- 高精度個別化放射線腫瘍学コース
- 特定集団特化型がん緩和医療コース
- 新規治療法開発を目指す
人材育成のための創薬研究コース



阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン
文部科学省採択事業
次世代のがん
プロフェッショナル養成プラン